



としよかんだより

平成30年 9月号 七区小学校図書館

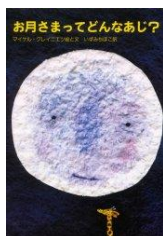
まだまだ暑い日が続きますが、みなさん運動会の練習がんばっていますね。でも、ちょっと疲れたな…という時は図書館に行ってゆっくりと本を読んでみましょう。本を読むと気持ちがゆったりとして、またがんばることができます。

図書館では、運動会にちなんだ本やスポーツの本、秋におすすめの本を展示しています。お気に入りの本が見つかるといいですね。



つきほんしょうかい お月さまの本、紹介

秋の澄んだ夜空に見えるお月さまはとてもきれいです。そんな秋におすすめのお月さまの出てくる本です。



「お月さまってどんなあじ？」 マイケル・グレイニエツ

お月さまってどんなあじだろう？ 動物たちは力を合わせてお月さまのかけらを取りに行きます。さて、どんなあじがするのでしょうか…。



「パパ、お月さまとって」 エリック・カール

ある晩、モニカがベッドに行こうとすると、窓からお月さまがとても近くに見えました。パパにお願いすると、パパは長いはしごをかけてお月さまを取りに行きます。お月さまが小さくなったときに取って来ますが…。



「月夜のバス」 すぎみきこ

月夜に、海岸線の道路を1人の少年が歩いていました。横断歩道のところまで来て、少年は赤信号で立ち止まりました。そこへバスがやってくるのですが、そのバスは月光のさしこむ海底のようにほの青く輝いていて…。

ほんのポップを作ってみませんか？

夏休みはたくさん本が読めたことと思います。これまでに読んだ本で、「ぜひ、これはおすすめ！」という本はありませんか。図書館では、みんなのおすすめの本のポップ（読んでみたくなるような心をつかむ言葉、本の紹介文、絵を書いたもの）を募集しています。友達に自分のお気に入りの本をすすめてみませんか。また、友達のポップを読んで気になる本は、ぜひ借りて読んでみてください。

図書館には、1学期に6年生が作ってくれた本のポップとその本を展示しています。お手本にしてみるといいですね。



ひろどくしょはなしほん 昼読書には、お話の本を！

5時間目が始まる前に昼読書をするとうれしくなりますね。さて、「昼読書にはお話の本を読みましょ」という約束がありました。では、どうしてお話の本を読むのがよいのでしょうか。1学期の初めにお話しましたが、もう一度思い出してみましょ。

お話の中では、いろいろな人や動物などがでてきて、いろいろなことが起こります。それを読んで、自分の中で主人公の気持ちによりそって考えたり、これって素晴らしいことだなと感じたりすることで、自分の世界が広がっていくからです。一人で経験することは限られています。お話の本をたくさん読んで、たくさんの世界を知り、心が豊かになっていくといいですね。

ほんこころほん 「本をよむと心がそだつ」本コーナー

図書館の中に、「本をよむと心がそだつ」本コーナーができました。たくさん本がある中から、特にみなさんにおすすめしたい本を集めて本だなに置いてあります。ぜひ手に取って読んでみましょう。また、この中から図書館の先生が学年に応じて本を選んで、教室に貸し出しをします。教室には「図書館の本コーナー」があります。1月ごとに本を入れ替えるので、昼読書の時間などに読んでみましょう。

